

# みのEDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会

TEL 0572-43-2141

発信：多治見市・笠原町東京情報局

TEL 03-5225-6863

## 2012 タイルフェアをふりかえって

Japan Home and Building Show2012/IFFT interiorlifestyle living2012/reform &amp; interior2012



セラミック タイル プラザの入口

### デザイン性・意匠性の高いタイルとQ-CATをアピール！

ジャパンホーム&amp;ビルディングショー 2012

11月14日（水）から16日（金）まで東京ビッグサイト・東ホールにおいて、恒例の住宅・建築関連専門展示会「第34回 Japan Home and Building Show（ジャパンホーム&ビルディングショー）2012」（㈱日本能率協会主催）が盛大に開催された。

昨年は東日本大震災の影響もあってか単独開催となりやや迫力を欠いたが、今年はインテリア関連の専門展示会「インテリアトレンドショー JAPANTEX」と合同開催し、「ホーム・ビル&インテリア WEEK」として全体で約600社の出展のもと、来場者数は3日間で3万3千余人と大盛況となった。展示テーマは「最新のスマートハウスから住まい方（インテリアトレンド）までを提案」、スケールアップした内容でより充実した住まいの提案が行なわれた。毎年出展している全国タイル工業組合の「セラミックタイルプラザ」を中心に今年の特徴的なタイルシーンを紹介する。

#### セラミック タイル プラザ

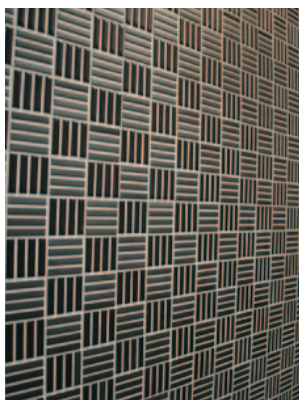
「Japan Home & Building Show」は、「4つの展示会」（ジャパンホームショー／サステナブル建築技術展／スマートハウス展／ふるさと建材・家具見本市）で構成されたほ



Q-CATの施工実演風景

か、建材・部材・設備の専門展示会として「魅力的な多数の企画」や「基調講演・講演会・セミナー」が多彩に展開された。

その中で、国内のタイルメーカーで構成される全国タイル工業組合の出展ブース「セラミックタイルプラザ」では、各メーカーが内外装にわたってデザイン性・意匠性の高いタイル新製品や機能性（調湿・防汚等）にすぐれたタイルの展示をするとともに、「外装タイルと有機系接着剤の組合せ品質認定制度（Q-CAT：Quality accreditation system for Combination of organic Adhesive



陶彩+MONO MIX  
(オザワモザイクワークス)



アンシル (山延製陶所)



多治見市のマスコット  
「うながっば」(山周セラミック)



スキーム ラージフォーマット  
(エクシズ)



ラスティカデザインの展示パネル (三協製陶) その他



セラミック タイル プラザ

and exterior Tile)」のパネル展示とP Rのほか施工実演も行なわれた。

### 業界あげて推進するQ-CAT

現在、全国タイル工業組合を中心に業界あげて推進するQ-CAT(「キューキャット」)は、外装接着剤張り用タイルと接着剤および両者の組合せにより認定された製品に認定マークが付与される(現在、Q-CAT認定商品はタイル707アイテム、接着剤42アイテム→全国タイル工業組合のホームページ<http://www.tile-net.com/>参照)。その認定されたタイルと接着剤を用いた外装接着剤張り工法のメリットとしては、「安心・安全の施工品質」「高意匠」「省施工」「環境配慮(CO<sub>2</sub>排出量削減)」などが挙げられるが、実演でもその特徴が強調されていた。

### 一般ブースの注目点

そのほか一般ブースでのタイル展示としては、TOTO



ハイドロセラ・ウォール 910×1820mm×厚5～6mm (TOTO)



調湿建材の展示 (サンゲツ)

Oの光触媒層を焼付けた内装用セラミック建材「ハイドロセラ」の壁用大判セラミック「ハイドロセラ・ウォール」などが目についた。

また企画展示として行なわれた「暮らしとデザイン」のブースでは、壁紙メーカー・サンゲツによる調湿建材(内装材)のいぶし瓦調デザインに和のトレンドに対する鮮度が伺われた。

### ■セラミックタイルプラザ出展社

(株)エクシズ/(株)オザワモザイクワークス/各務製陶(株)/(株)カネキ製陶所/三協製陶(株)/(株)杉浦製陶所/鈴製陶(株)/(株)セラメッセ/玉川窯業(株)/(株)TNコーポレーション/長江陶業(株)/(株)日東製陶所/(株)ニッター/(有)丸万商会/山周セラミック(有)/(有)山延製陶所/(株)LIXIL/美濃焼クールアイランドタイル振興会/モザイク工房





備前焼 シンプルモダンな花器シリーズ



備前焼 創作すり鉢



備前焼 指輪・ピアスなどの小物



備前焼 陶板パーテーション

## 和モダンの世界にハイエンド・ハイデザインの新しいトレンド—— I F F T / インテリア ライフスタイル リビング

10月17日（水）～19日（金）の3日間、東京ビッグサイト東ホールにて「IFFT/ インテリアライフスタイルリビング」（主催：社団法人日本家具産業振興会／メサゴ・メッセフランクフルト株式会社）が開催され、11カ国・地域から338社・団体が集い、ハイエンド・ハイデザインな最新の製品が披露された。今開催は、国内外のハイクオリティな家具やインテリア・デザイン製品のラインナップ、来場者の目線に立ったシンプルで明確なゾーニング、そして業界のニーズを反映し、新たなビジネスアイデアを提案した特別企画に高い評価が寄せられた。会場には3日間で19,166人が来場。セラミック関連で今年の新しいトレンドを感じさせたタイル様素材などを紹介する。

### 備前焼 陶友会

注目の特別企画の一つ「Lifestyle Salon 2012」では、『ニッポンの伝統工芸「備前焼」の次世代への繋げ方』と題したトークセッションが行なわれたが、これは3人の

プロダクトデザイナーが備前焼の窯元に入り、作家・職人とのコラボレーションによって時代のトレンドを切り開くような製品を生み出そうというプロジェクトに関わった、その当事者たちが創作のプロセスや協業の成果を語り合うもので、たいへん興味深い内容だった。

その結果として新しく生み出された備前焼の製品、あるいは試作品などが〈JAPAN STYLE〉の「備前焼陶友会」のブースに展示され、備前焼の素朴な表情を活かしたパーテーションや花活け、すり鉢、小物（指輪!?）など意表をついた着想や斬新なデザインの製品に多くの来場者が高い関心を寄せていた。激減した伝統的窯元の再興を賭けたプロジェクトは、成功をおさめつつあるといってい

だらう。〈JAPAN STYLE〉ではほかに、瑞浪市産業振興販路開拓委員会からマスターズクラフトという工房が、新しく製品開発したかわいらしいセラミック「はしおき」を出品し、そのあそび心に富んだ和のモダンデザインが印象的で来場者を引き付けていた。ちなみに同社の品川プリンス店、



マスターズクラフト「はしおき」



田代合金所の錫内装材 “コンウォール”



「Peak Hunter」プロジェクト



「京からかみ」による  
Karakami wall panel

パレスホテル東京店では、1個500円で販売して好調だとか。

### 素材と造作のちから

注目を集めた特別企画「Creative Resource 素材と造作のちから」では、インテリアマテリアルや関連商材を扱う20社が出展。その出展者の一つ(株)田代合金所の錫（すず）の内装材“コンウォール”は、職人の手によって鑄込まれる素材に柔らかな輝きとやさしい感触があり、その錫特有の質感を活かして、和洋問わず落ち着いた雰囲気を演出できる点がアピールされた。幅広い用途への活用が期待されるという。

また若手デザイナーの発表の場である「スーン ジャパ

ンデザイン プロジェクト」では一見、タイルと見間違えるような素材感を表現したのが「Peak Hunter」と題したプロジェクトだった。特殊な塗装・造形・左官工事やリノベーションを得意とする工房“グリーンマテリアル”と鉄・ステンレス・アルミによるインテリア・エクステリア・アート作品を造形する“タケダワークス”とのコラボレーションによる家具や装飾展示は刺激的だった。

そのほか「京からかみ」による Karakami wall panel（京都丸二）の展示にも注目した。古くから日本にある唐紙紋様を今様にデザインした装飾パネルで、伝統的な美しさを湛えながら洗練された意匠を演出していた。いずれもインテリア素材としてのタイルのあり方に、何かヒントを与えてくれるのではないだろうか。

## 「快適・健康」で「安全」「エコ」な未来志向の住まい方を提案！ リフォーム&インテリア 2012

日本経済新聞社と公益社団法人インテリア産業協会は、リフォームとインテリアの最新情報を発信する一般向けのイベント「リフォーム&インテリア 2012」（第1回）を、さる9月21日（金）から23日（日）の3日間、東京ビッグサイト・西ホールで開催した。

「住まいと暮らしをスマートに」をテーマに、「快適・健康」「安全」「エコ」が揃った未来志向の住まい方を、豊富なシーン展示やセミナーを通じて提案するほか、会場のエントランスでは、大規模なテーマ展示「リフォームの好奇心、インテリアのコウキシン」が、リフォーム後の住空間やインテリアをインテリアコーディネーターやキッチンスペシャリストが6つのコンセプトとシーンで展開。さらに、企業展示や企画展示では住宅設備や建材、インテリア、リフォーム会社のほか、耐震や省エネ、エクステリア&ガーデン、DIY・ホームセンターリフォーム、マンション大規模修繕など、具体的な製品やサービスを比較・検討することができる。

総来場者数3万713人。これまでインテリア産業協会が共催してきたインリアトレンドショーから離れて一般向けフェアとして単独開催となったが、盛況裡に成功したといえるだろう。ほとんどタイルシーンを見ることはできなかったが、インテリアのトレンドがナチュラルや和といった、人の安らぎや癒しにつながるデザインを志向していることがアピールされていた。



テーマ展示「アップデートされたクラシック」  
（夫婦が落ち着くリビング）



住宅エクステリアガーデン研究会の  
ナチュラルな企画展示



## ◆ 全国タイル工業組合小部会のモザイクタイルメーカー見学会から 「LIXIL 資料館 & LIXIL ショールーム東京」 「名古屋モザイク 東京ショールーム」



LIXIL 資料館・畫間館長より説明を受ける



LIXIL ショールーム東京の案内と説明を受ける

全国タイル工業組合の小部会（小澤直樹 部会長／㈱オザワモザイクワークス代表取締役）では先般、「ジャパンホーム&ビルディングショー 2012」の出版に合せて上京したのを機に、今年、相次いでオープンした「LIXIL 資料館」「LIXIL ショールーム東京」の視察見学会を 11 月 16 日（金）に実施した。この日は 5 社 6 名が参加、総合住生活企業の大型基幹施設を精力的に見て回った。見学会参加者ならびに施設概要は次のとおり。その後、名古屋モザイク工業㈱の東京ショールームに移動し、そちらでも見学と懇親を行なった。

〔見学会参加者〕（敬称略）

小澤直樹（㈱オザワモザイクワークス 代表取締役）

中島竹壽（玉川窯業㈱ 代表取締役）

薄田達永（㈲丸丈製陶所 代表取締役）

長江優緒（山周セラミック㈲ 代表取締役）

大野英敏（㈲山延製陶所 代表取締役）

横井弘喜（全国タイル工業組合 係長）

〔案内役〕

株式会社 LIXIL「LIXIL 資料館」館長 畫間 幸雄

株式会社 LIXIL 広報部 河合 慎太郎

### 〔LIXIL 資料館〕

住まいと暮らしの総合住生活企業である株式会社 LIXIL（本社：東京都千代田区、社長：藤森義明）は、LIXIL のオフィス拠点として 9 月に再構築した「LIXIL WING ビル（東京都江東区）」のリニューアルに伴い、LIXIL に統合した各社の創業時からの史料などを展示した「LIXIL 資料館」を 10 月 1 日に開設オープンした。

【所在地】東京都江東区大島 2 丁目 1 番 1 号 LIXIL WING ビル

【電話番号】03-3638-6276

【開館時間】月～金 10：00～17：00（土日、祝日、会社休日は休館）

【入場料】無料

【見学申込】電話による事前予約制

【施設面積】約 1,400㎡（ミュージアム約 510㎡、ライブラリー約 500㎡）

### 〔LIXIL ショールーム東京〕

首都圏最大級の展示スペースをもつ旗艦ショールーム



ミュージアムゾーンで INAX の歴史の説明を受ける



改修のなった東京駅舎で復刻された煉瓦調タイルの展示



名古屋モザイク工業 東京ショールームにて



懇親会で乾杯！

として、8月に新設オープンした。L I X I Lブランド体験の場として、また総合住生活企業としての情報発信拠点として、豊富な商品・サービスを提供することでお客様に“いい住まい、いい暮らし”を体験していただき、実現するためのお手伝いをする新しい形のショールーム。

【所在地】東京都新宿区西新宿 8-17-1

【電話番号】03-4332-8888

【営業時間】10:00～17:00

【休館日】毎週水曜日（祝祭日の場合は営業）、夏期、年末年始

【フロア面積】約 5,280㎡（約 1,600 坪）

#### 【名古屋モザイク 東京ショールーム】

【所在地】東京都渋谷区代々木 1-21-8 クリスタルハウス B1-2F

【電話番号】03-5350-3111

【営業時間】10:00～17:00

【休館日】祝日（平日・土・日営業）

#### 名古屋モザイク工業(株) 東京支店の皆さんとの交流会も

ショールーム見学後に、せっかくの機会なので早田常務取締役をはじめ東京支店・ショールームスタッフの皆さんとの交流会も行なわれ、地下1階フロアに用意された宴席を囲んで懇親の場をともした。

話題は、やはりタイル業界の復興で、これまで市場をリードしてきた45二丁が凋落したが、ここに来て建設業界の活気も少しずつ回復の基調にあり、意匠性、機能性の高い内外装・床タイルも少し上昇気運にあることから、付加価値の高いモザイクタイルの出番も期待される状況にあると、活発な意見交換が行なわれた。

#### 笠原陶磁器工業協同組合・高木事務局長、一般財団法人たじみ笠原タイル館・堀江事務局長も資料館を見学

12月7日（金）に来春開催の「建築・建材展 2013」の出展社説明会に上京した笠原陶磁器工業協同組合・高木事務局長と、たじみ笠原タイル館・堀江事務局長もこの日、L I X I L 資料館の見学に訪れた。その目的は、平成27年の竣工をめざして現在基本設計がすすめられている「日本タイル館」（仮称）の基本プランの策定や将来の館の管理運営に資するための視察・情報収集であり、対応してくれた晝間館長もその主旨に応じて、バックヤードや事務室までご案内いただき、丁寧な施設の説明にあたってくれた。

今後、資料館だけでなくショールーム東京などの旗艦施設も含め、「タイル館」関係者の視察見学にも前向きに協力していただけるとのお話もいただき、充実した見学となった。



L I X I L 資料館・晝間館長と懇談する堀江氏・高木氏



晝間館長に資料館を詳細に案内いただく